

Vision 2030

2025年、日本では石破総理が誕生し、アメリカではトランプ大統領が復活。

日米間の関税問題をはじめ、世界全体で経済や政策が大きく揺れ動く一年となっています。たった一人のリーダーシップが、国を、そして世界を大きく動かす。

これは国家だけでなく、企業・組織の中でも同じことが言えます。 私たちも、変化を恐れず、挑戦する側に立つべき時が来ています。

AI、特にChatGPTをはじめとするテクノロジーの進化が目覚ましい今、私たち人間が勝る唯一の武器は「人間力」と「感性」です。

人間力を高めれば、人は人を惹きつけ、自然と信頼とご縁が広がります。感性を磨くことで、お客様の本当のニーズを読み解き、時代の一步先を行く直感が研ぎ澄まされます。

しかし、この2つは、ただ座学で学ぶものではありません。

「謙虚に、現場で、挑戦を恐れずに」行動することでしか、得られないものです。そして何よりも大切なことは、「失敗を恐れない心」です。

世の中に“最初から完璧に成功する人”などいません。

大きな成果を出している人ほど、実はその何倍もの失敗を経験してきた人たちです。成功と失敗を分けるのはただ一つ。

失敗を放置するか、失敗を糧に、成功するまで改善してやり抜くか。

あなたなら、どちらを選びますか？

私たちYANESEKOグループは、2029年にグループ売上12億円の達成を明確な目標として掲げ、幹部陣と共にその実現に向けて着実に動き出しています。

なぜ、この目標を掲げるのか？

それは、我が国では、物価上昇が続き、人々のQOL(生活の質)が下がりつつあるこの時代において、仲間たちに確かな利益と豊かさを還元するには、もはやこの挑戦しかないと確信しているからです。

私は見てきました。

志を持ち、国家資格を手にしても、報われない給与に失望し、やむなく転職する人。

経験もスキルも整わないまま、独立という名の孤独な挑戦に踏み出し、リスクに飲まれ失敗する姿を。

経営とは、誰にでもできるものではありません。

必要なのは、時代を読み、人を導く「人間力」。

そして、目の前の本質を掴み、未来を描ける「感性」。

それを磨いた人間だけが、人と事業を動かし、組織を進化させていけると、私は信じています。

だからこそ私たちは、共に切磋琢磨し、共鳴できる仲間たちとの連携を恐れません。

私たちのビジョンと戦略に共感し、ともに加速できる関係が築けるなら、事業譲渡や業務提携といった外部連携も、積極的かつ綿密に進めていきます。

すべては、“未来を変えるのは、私たち自身”という信念のもとに。

そして、「加古川から世界へ」という挑戦を、本気で実現するために。

私たちの最大の強みは、業種の壁を超え、人とサービスを“つなげる力”です。

今後、少子高齢化がますます進む中、私たちは社会に必要とされるビジネスモデルを創り続けます。

****私たちの展開する二本柱****

1. 医療×トレーニング事業

2. 障がい福祉×スイーツ事業

この2軸を中心に、地域に根差した**ドミナント戦略**で、加古川市から周辺エリアへ、そして日本全国、さらに世界へと広がっていきます。

「加古川から世界へ」このビジョンを共に掲げ、世界で勝負できる企業を、皆さんと創っていきたい。

**未来を変えるのは、私たち一人ひとりの「挑戦」です。
ともに、熱く、前へ進みましょう。**

全従業員が心身共に充実し YANESEKO FAMILYから地域で一番紹介したい会社にする

YANESEKO
グループ



雇用促進

働く場所の提供

社会保障費削減

医療費削減

社会的弱者^(※1)が拡大する世の中において医療を軸として、「**医療費の削減**」を目指しながら、社会課題を解決できる取り組みを社員一丸となり取り組んでいく。

障がい福祉においては、「**働く場所の提供**」を通じ「**雇用促進**」を積極的に行っていき、障がいも個性であると考え、誰もが輝ける社会を創っていく。

介護予防に関しては介護サービスの入り口を改善することで「**社会保障費の削減**」を目指します。

私たちは、1つのサービスよりも掛け合わせることで、より強固で差別化した独自性の高いサービスに進化できることを知っています。単に、事業拡大し利益を追求するだけでなく、上記の想いを忘れることなく業務していけば物心両面が充実できると確信しています。

「If you want to go far, go together.」

速く行きたいなら、一人で行きなさい。遠くへ行きたいなら、みんなで行きなさい。

※1 雇用・就学の機会や人種・宗教・国籍・性別の違い、あるいは疾患などによって、所得・身体能力・発言力などが制限され、社会的に不利な立場にある人。高齢者・障害者・児童・女性・失業者・少数民族・難民・貧困層など

2025年 6月吉日
株式会社 YANESEKO
一般社団法人 YANESEKO JAPAN

代表取締役 / 代表理事

矢根和紀